

医療機関等との関係の透明性に関する基本方針



2025年6月 改定

1. 目的

我々製薬業界は生命関連産業として国民・患者さんの生命・健康に大きく関わるために、他の産業以上にその活動の透明性が求められています。

当社も製薬業界の一員として、日本製薬工業協会（以下、製薬協）で定める「製薬協企業行動憲章」、「製薬協コンプライアンス・プログラム・ガイドライン」、「医療用医薬品プロモーションコード」をはじめとする関係諸規範およびその精神に従い、あらゆる日々の活動を行なっていますが、医療機関等・医療関係者・関係団体との連携活動における透明性を確保するために、製薬協の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」を基に、「医療機関等との関係の透明性に関する基本方針」（以下、本方針）を定めて情報公開を行います。

我々の活動が医学・薬学をはじめとするライフサイエンスの発展に寄与していることおよびその活動が高い倫理性を担保したうえで行われていることなどについて、広く理解を得ることを目的とします。

2. 公開方法

当社のホームページを通して医療機関等・大学・団体・医療関係者への前年度分の費用提供について、下記の4. 公開対象項目を決算終了後に情報公開します。

3. 公開時期

各年度（6月16日～翌年6月15日）における支払いを、決算終了後準備が整い次第公開します。公開期間は、公開日より6年間といたします。

4. 公開対象項目

公開対象項目は次の通り A～E の 5 項目とし、それらの項目をさらに分類して公開します。

- A. 研究費開発費等
- B. 学術研究助成費
- C. 原稿執筆料等
- D. 情報提供関連費
- E. その他の費用

A. 研究費開発費等

研究費開発費等には、臨床研究法、医薬品医療機器等法における GCP/GVP/GPSP 省令等の公的規制や各種指針のもと実施される研究・調査等に要した費用が含まれる。

公開項目例

A-1 特定臨床研究費	研究 I D [※] 、資金提供先の名称、統括管理者名、 研究実施医療機関名、所属、研究責任医師名：〇〇件 〇〇円
A-2 倫理指針に基づく研究費	提供先施設等の名称：〇〇件 〇〇円
A-3 臨床以外の研究費	年間総件数 〇〇件 年間総金額 〇〇円 提供先施設等の名称一覧
A-4 治験費	提供先施設等の名称：〇〇件 〇〇円
A-5 製造販売後臨床試験費	提供先施設等の名称：〇〇件 〇〇円
A-6 副作用・感染症症例報告費	提供先施設等の名称：〇〇件 〇〇円
A-7 製造販売後調査費	提供先施設等の名称：〇〇件 〇〇円
A-8 その他の費用	年間の総額

※ jRCT (Japan Registry of Clinical Trials) に記録される識別番号

B. 学術研究助成費

学術研究の振興や研究助成等を目的として行われる奨学寄附金、一般寄附金、及び学会等の会合開催費用の支援としての学会等寄附金、学会等共催費等。

「学会等共催費等」には、会合開催に付随するセミナー等の共催費、広告掲載料、出展料などが含まれる。

公開項目例

B-1 奨学寄附金	〇〇大学〇〇教室：〇〇件 〇〇円
B-2 一般寄附金	〇〇大学（〇〇財団）：〇〇件 〇〇円
B-3 学会等寄附金	第〇回〇〇学会（〇〇地方会・〇〇研究会）：〇〇円
B-4 学会等共催費等	第〇回〇〇学会 〇〇セミナー：〇〇円

C. 原稿執筆料等

自社医薬品をはじめ医学・薬学に関する科学的な情報等を提供するため、もしくは研究開発に関わる講演、原稿執筆や監修、その他のコンサルティング等の業務委託の対価として支払われる費用等。

公開項目例

C-1 講師謝金 ○○大学（○○病院）○○科○○教授（部長）：○○件○○円

C-2 原稿執筆料・監修料 ○○大学（○○病院）○○科○○教授（部長）：○○件○○円

C-3 コンサルティング等業務委託費 ○○大学（○○病院）○○科○○教授（部長）：○○件○○円

D. 情報提供関連費

医療関係者に対する自社医薬品や医学・薬学に関する情報等を提供するための講演会、説明会等の費用。

公開項目例

D-1 講演会等会合費：年間の件数・総額

D-2 説明会費：年間の件数・総額

D-3 医学・薬学関連文献等提供費：年間の総額

E. その他の費用

社会的儀礼としての接遇等の費用。

公開項目例

E 接遇等費用：年間の総額

以上